

# 経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

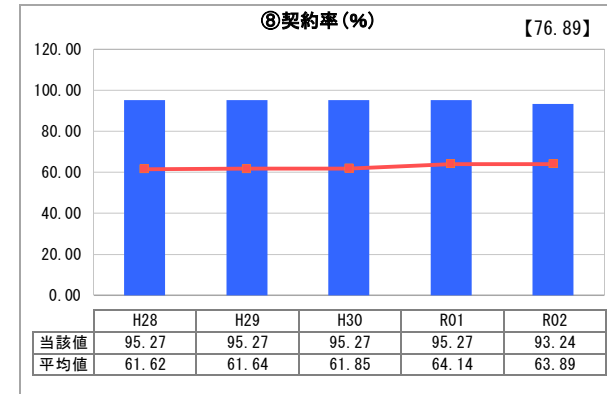
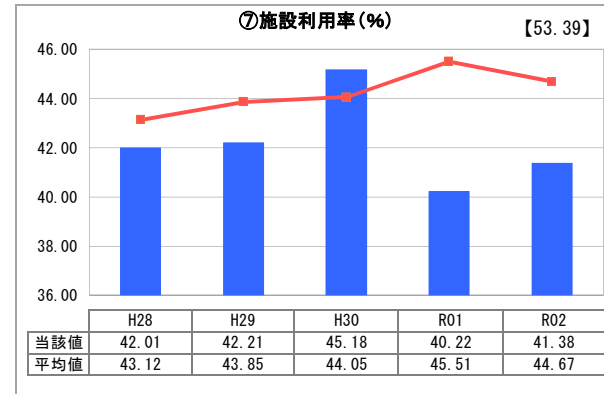
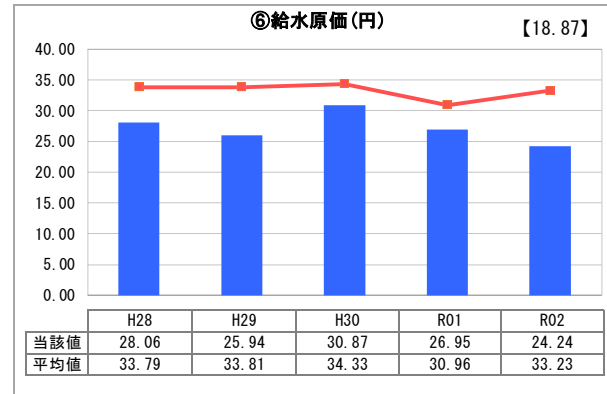
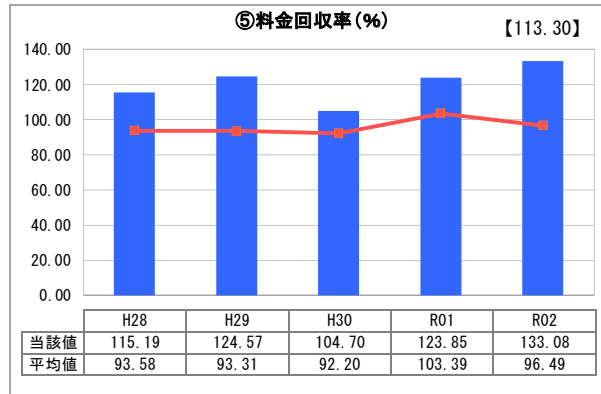
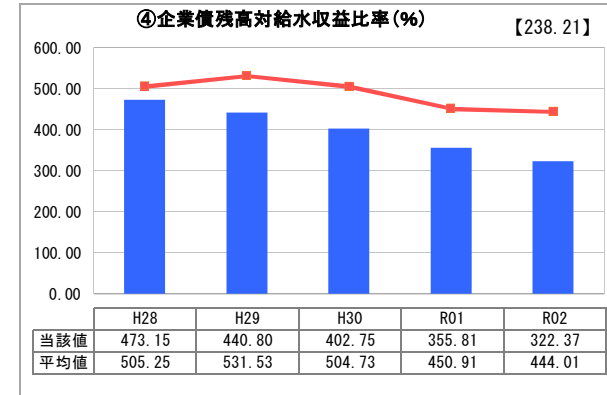
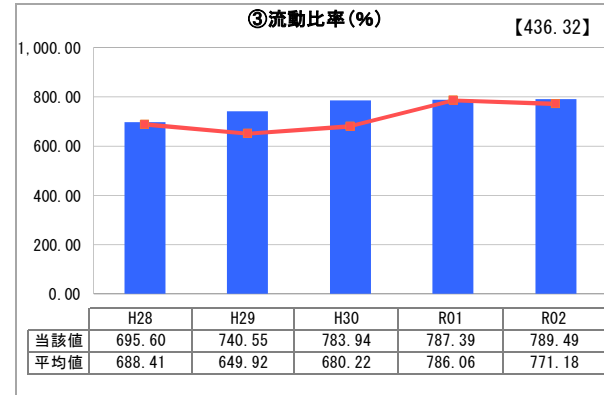
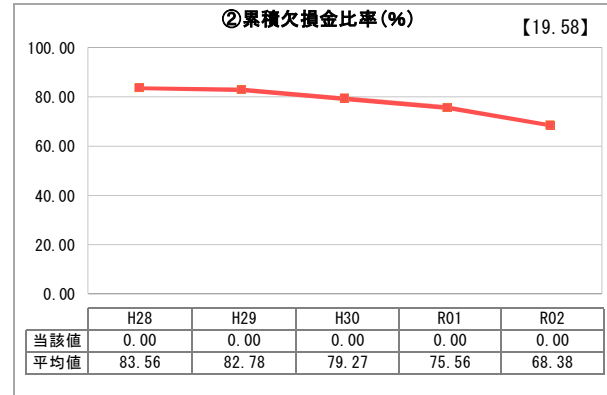
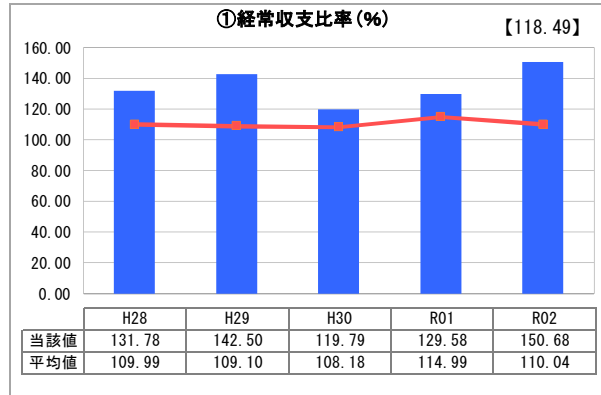
福島県 西郷村  
【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日) 29,600	類似団体区分 小規模	施設数 3	1日平均配水量(m <sup>3</sup> ) 12,247
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 64.6	給水先事業所数 4	契約水量(m <sup>3</sup> /日) 27,600	管理者の情報 非設置	

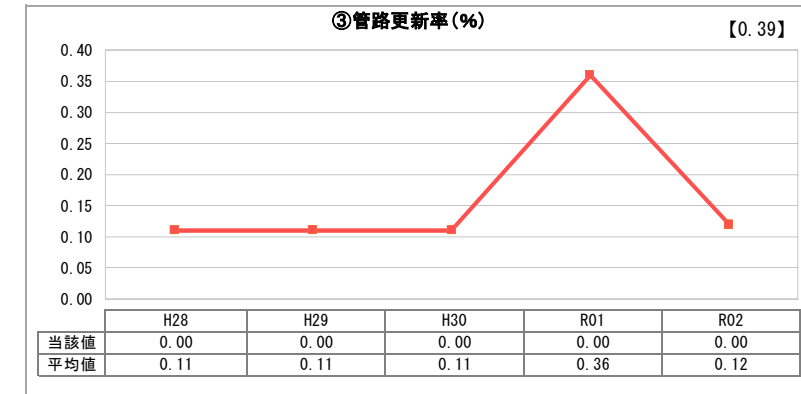
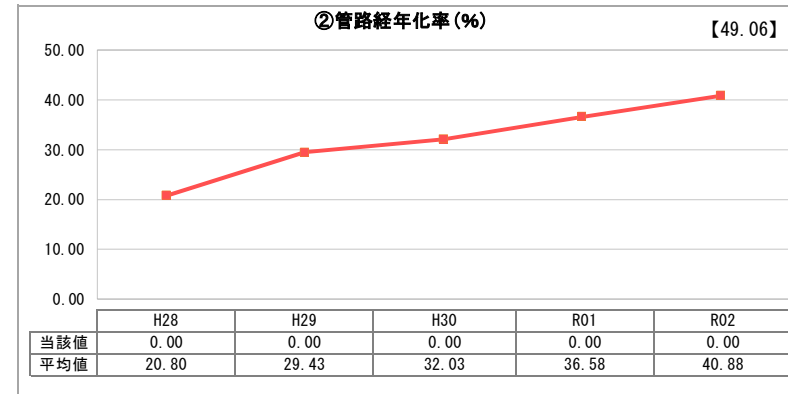
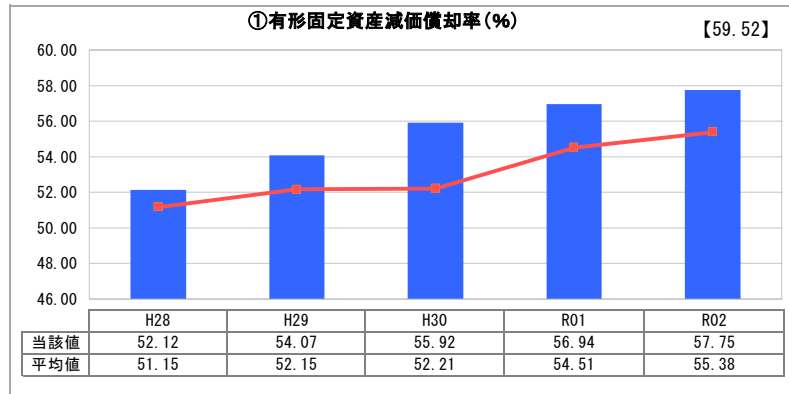
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超え、本村の経営状況は比較的安定しているといえる。  
 ② 累積欠損金比率は0%と健全経営を維持している。  
 ③ 流動比率は短期債務に対して十分な支払能力を有しているとされる概ね200%の水準を大幅に超えて確保しており、財務状況は良好であるといえる。  
 ④ 企業債残高対給水収益比率は類似団体と比べて低く、毎年度比率は減少傾向にある。これは償還に伴う企業債残高の減少で今後も引き続き計画的な企業債の借入及び償還に努めたい。  
 ⑤ 料金回収率は類似団体を上回っており健全な経営状況にあるといえる。  
 ⑦ 施設利用率はここ数年40%台を推移している状況である。なお、本村の料金については責任水量制を採用しているため、施設利用率が低いことが直ちに給水収益に影響を及ぼすものではない。  
 ⑧ 契約率は事業所の契約水量の減少により、令和2年度は減少した。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率が増加傾向にあることから、老朽化が徐々に進んでいる状況にある。  
 ②、③ 管路経年管は残存していない状況にあるが、今後はアセットマネジメントの結果を基にした計画的な改良、更新を図っていく必要がある。

## 全体総括

経営の健全化、効率化については、概ね良好であると考えられる。  
 しかしながら、ユーザー企業の節水や生産ラインの合理化等、今後は契約水量の減少が見込まれる可能性もあるため、将来の安定的な収入の確保に努めたい。  
 また、老朽化については、有形固定資産減価償却率が増加傾向にあることから、優先順位や投資規模等を考慮しつつ、施設の改良、更新を進め、施設の効率性を高めながら将来の運営体制や投資の在り方について検討していく必要があると考えられる。